実習内容 ならびに スケジュール

放射線科

内容	担当	集合時間	集合場所
オリエンテーション CT・MRI基礎 TF※説明	山門	8:55	8号館6階 医局 8号館地下1階 カンファレンス室
(TF:ティーチングファイル) 核医学・PET概論 TF閲覧(自習)	北島	13:30	PETセンター1階 カンファレンス室 8号館地下1階 読影室
骨軟部画像診断 中枢神経画像診断 TF閲覧	池田	9:00	8号館地下1階 カンファレンス室
腹部画像診断・PACS使用法説明	高木	13:30	8号館地下1階 カンファレンス室
IVR実習 小児画像診断 骨盤・婦人科画像診断	山門河中	8:45 13:30	急性医療総合センター 1階 IVRセンター 8号館地下1階 カンファレンス室
IF閱覧(目習)			
教授回診 胸部画像診断 X線TV	山門 児玉 横山	9:00	8号館6階 医局 8号館地下1階 カンファレンス室
CT·MRI·IVR·放射線治療 部門に分かれて実習	各担当医	13:30	各検査室
腔内照射・RALS 放射線治療外来見学 / TF解説 放射線治療	鈴木 冨士原 / 河中 冨士原	9:00	8号館地下1階 カンファレンス室 放射線治療室 8号館地下1階 カンファレンス室
	オリエンテーション CT・MRI基礎 TF※説明 (TF:ティーチングファイル) 核医学・PET概論 TF閲覧(自習) 骨軟部画像診断 中枢神経画像診断 TF閲覧 腹部画像診断・PACS使用法説明 IVR実習 ル児画像診断 骨盤・婦人科画像診断 TF閲覧(自習) 教授回診 胸部画像診断 X線TV CT・MRI・IVR・放射線治療 部門に分かれて実習 腔内照射・RALS 放射線治療外来見学 / TF解説	オリエンテーション 山門 CT・MRJ基礎 TF※説明 古村 TF※説明 北島 (TF:ティーチングファイル) 核医学・PET概論 北島 TF閲覧(自習) 池田 母軟部画像診断 中枢神経画像診断 TF閲覧 高木 ルワ果習 山門 小児副像診断 骨壁・婦人科画像診断 TF閲覧(自習) 河中 教授回診 山門 胸部画像診断 X線TV 児玉板山 CT・MRI-IVR・放射線治療 部門に分かれて実習 各担当医 膣内照射・RALS 鈴木 放射線治療外来見学 / TF解説 富士原 / 河中	### A 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19

◎ 診療科名: 放射線科

◎ 責任者氏名: 山門 亨一郎 主任教授

◎ 指導教員氏名: 冨士原 将之 教授

◎ 実習概要

1. カンファレンス、2. 教授回診、3. 画像診断実習、4. IVR実習、5. 放射線治療外来見学、6. 放射線治療計画実習、7. RALS・腔内照射見学、8. ティーチングファイル閲覧による画像診断、9. 講義、などを行い、放射線医学(画像診断、核医学、IVR、放射線治療)領域における的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果(アウトカム)

(臨床実習の授業概要「到達目標(アウトカム)」に準拠する)

画像診断•核医学:

- ①CT、MRI、核医学検査、X線TV等各種検査の適応についてアセスメントができる。
- ②核医学検査に用いる放射性医薬品、撮像方法について論述できる。
- ③各種疾患の画像所見と鑑別を要する疾患について論述できる。
- 4異常所見について読影ができる。

血管造影·IVR:

- ①IVR の種類と適応・方法・治療成績について論述できる。
- ②血管造影の画像所見について論述できる。
- ③血管造影・IVRの合併症について論述できる。

放射線治療:

- ①がん診療における放射線治療の適応についてアセスメントができる。
- ②各種疾患に対する照射方法、線量、治療成績について論述できる。
- ③放射線治療の副作用(急性期、晩期)について論述できる。
- ④放射線の種類、放射線治療装置の名称について論述できる。

放射線防護:

① 被ばくによる障害および放射線防護について論述し、実践できる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

・事前に過去の講義資料(2-4年生時)に目を通しておくこと(1日)

◎ 評価方法

知識、態度(積極性)、コミュニケーション、プレゼンテーション技術(構成、スライドの見やすさ、伝え方など)について評価。 評価基準をルーブリックで明示。

	1	2	3	4	5
知識★	代表的な疾患	代表的な疾患	代表的な疾患	代表的な疾患	代表的な疾患
	の画像所見に	の画像所見に	の画像所見に	の画像所見に	の画像所見に
	ついて、理解	ついて、検査	ついて、各検	ついて、各検	ついて、各検
	できない。	所見を概ね理	査の所見を理	査の所見と鑑	査の所見と鑑
	IVR および放	解している。	解している。	別疾患を理解	別疾患を理解
	射線治療の治	IVR および放	IVR および放	している。	し、その理由
	療計画と副作	射線治療の治	射線治療の治	IVR および放	を評価でき
	用について、	療計画と副作	療計画と副作	射線治療の治	る。
	正確に解説で	用について、	用について概	療計画と副作	IVR および放
	きず、指導に	正確には解説	ね説明でき	用について正	射線治療の治
	よっても理解	できないが、	る。	確に説明でき	療計画と副作
	できない。	指導を受ける		る。	用について正
		ことで実施で			確に説明し、
		きる。			その理由を評
					価できる。
態度(積極性)	欠席、遅刻、自	問題なし	必要な知識お	課題を発見	意欲的に関連
*	主的に学習し	支援を受けな	よび技能を自	し、必要な知	事項を学び、
	ない。	がら知識を習	主的に習得し	識と技能を自	学習成果を挙
		得した。	た。	主的に習得し	げ、知識と技
				た。	能を習得し
					た。
コミュニケー	対人関係の問	明らかな問題	患者および医	患者および医	医療者として
ション★	題、患者や医	なし。	療スタッフと	療スタッフか	の信頼を得
	療スタッフか		の良好な対人	ら信頼を得	る。
	らのクレー		関係構築がで	る。	
	۵.		きる。		

プレゼンテー	画像所見や病	画像における	画像における	画像における	画像における
ション技術	態について、	異常所見を概	異常所見を理	異常所見につ	異常所見につ
(構成、スライ	所見レポート	ね理解し、所	解し、所見レ	いて、病態に	いて、病態に
ドの見やすさ、	としてプレゼ	見レポートと	ポートとして	ついても概ね	ついても理解
伝え方など)	ンテーション	してプレゼン	プレゼンテー	理解し、所見	し、所見レポ
	することがで	テーションで	ションでき	レポートとし	ートとしてプ
	きない。	きる。	る。	てプレゼンテ	レゼンテーシ
				ーションでき	ョンできる。
				る。	

◎ 中間評価とフィードバック

中間評価は行わない。

◎ 注意事項

- ・初日は、8時55分に、8号館6階 放射線科医局に集合すること
- ・木曜日8時00分からの教授回診には必ず出席すること (集合場所は、8号館6階放射線科医局)